

平成 25 年 12 月 2 日（月）：現地検討会（シカ害に遭いにくいスギの検証研究地、低コスト造林技術の検証研究地）

A) 参加者

所属	役職
郡上森づくり協同組合	理事長
	副理事長
	コーディネーター
郡上農林事務所	林業課長
	技術課長補佐
	技術主査
郡上市	林務課長
郡上森林組合	業務部 森林整備課
岐阜県建設業協会	事務次長
地域在住専門家（苗木生産等）	
岐阜森林管理署	署長
	地域林政調整官
	森林技術指導官
	主任森林整備官
森林技術・支援センター	所長
	森林技術普及専門官
	業務係長

B) 取組み説明

- ・ 岐阜県森林管理署からの視察依頼があったため、現地検討会と同日に開催した。
- ・ はじめに、本事業の取組説明を郡上総合庁舎にて行った。
 - シカ害に遭い難いスギの回りに久我系大苗を植栽し、食害状況について検証している最中であり、植栽から現段階までの食害被害の状況等について説明した。
 - 八幡町初納の現場で、セラミック苗、コンテナ苗、普通苗、大苗を植栽し、その植栽コストデータの分析、ハイトシェルターの設置コスト分析を行っていることを説明した。
 - ☆ 初納の現場については取組説明のみとし、現地での検討会及び現地視察は行わなかった。

C) 現地検討会

- ・ 和田氏のウンガイ苗（挿し穂）の視察
 - 春に挿し木をしたシカ害に遭い難いと思われるウンガイの生育状況の説明を和田氏より行った。

さし木の説明



- ・ 植栽後の状況視察
 - 植栽した久我系苗はほとんどが食害が見られたが、ウンガイ・ナカゲン 3 号については近日の食害痕は見られなかった。

植栽状況観察①



植栽状況観察②



- ・ 食害痕をみると、鋭利な切り口なものが数か所みられた。これはウサギによる食害であるとのことであった。

ウサギによる食害痕



現地検討会終了時の様子



- ・ 現地検討会の結果、現段階では植栽した久我系苗はほとんどが食害被害に遭っているが、ウンガイ及びナカゲン3号が食害に遭っていないため、シカやウサギが食べる苗を選んでいるものと思われる。今後も調査を続け、食害被害について報告を行う。

以上